

## 新池（しんいけ）

### 位置図



### 諸元

貯水量	347 千m <sup>3</sup>
満水面積	5.3ha
受益面積	101.1ha
堤高	14.7m
堤長	127 m

まんのうち町七箇（旧仲南町）の新池は、満濃池の西側に位置しており、満濃池森林公園の北側の水路で満濃池とつながっています。同公園の進入道路付近の堰で新池と満濃池に区分され、両池の満水位は同じ高さ（標高 146.0m）となっています。新池の築造年代は定かではありませんが、明治初期ごろに築造されたと考えられています。

元々、新池の満水位は満濃池より高かったため、余水が満濃池へ落ちていましたが、昭和 15～34 年（1940～1959 年）に満濃池の第 3 次嵩上げ工事に伴い満水面の高さが逆転するため、昭和 31 年（1956 年）に新池の嵩上げが行われました。新池の嵩上げ工事では、県下で初めてブルドーザーを用いて地山を掘削し、仮設道路は池の中に松丸太を敷き、ダンプトラックを使用して効率よく運搬しました。転圧は初めトラクターでタンピングローラを牽引しましたが、トラクターの馬力不足で転圧が十分でなかったため、平滑ローラで行いました。この嵩上げ工事により、新池の満水面が満濃池と同じになりました。

また、満濃池森林公園のふれあいの森やファミリー広場から新池を望むことができ、渚周辺に整備されているウッドデッキからはラクウショウの紅葉も楽しむことができるなど、来園者の憩いの場となっています。



新池



満濃池森林公園から見る新池の景色